

第 57 期

中 間 報 告 書

(平成18年 8 月 1 日から)
(平成19年 1 月31日まで)



株式会社 **イチヤ**

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当社の第57期上半期（平成18年8月1日から平成19年1月31日まで）の中間報告書をお届けするに当たり、ここにその事業の概況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の拡大や個人消費の回復、設備投資の増加など比較的堅調に推移したものの、原油価格の高騰や米国景気の減速、金利上昇懸念など、地域や業種により景況感に格差が生じております。

このような環境のなか当社グループは、本業である紳士服等衣料品事業、焼肉店およびコンビニエンスストア経営の飲食事業をはじめ不動産事業および投資事業ならびにブライダル事業に取り組んでまいりました。

衣料事業に関しましては、成熟した市場において競合状態が続くなか、消費の選択的傾向による価格競争は一段と激しく、また、観測市場最高の暖冬となった影響により防寒衣料を中心に売上が低迷し、厳しい状況で推移しました。こうしたなか、新たな取り組みとして、既存店舗をリニューアルし、ブライダル&フォーマル専門店「シェ・ア・ヴニール」を開店いたしました。ブライダル業界独特の慣例のなかで差別化を図り、特徴ある店舗作りにより集客に努めましたが、店舗の認知度不足により、若干苦戦しております。

飲食事業に関しましては、企業間競争はますます激しさを増しており、米国産牛肉の輸入禁止措置は解除になったものの、牛肉価格は高値のまま推移しており、業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。こうしたなか、当社は季節メニューの開発や肉類のロス管理を行うことにより集客向上ならびに粗利益の改善に努めたことによりほぼ計画通り推移いたしました。なお、上半期において業績改善の見通しが立たない1店舗を閉店し焼肉店舗は全部で3店舗となりました。なお、新たな試みとして、隣地駐車場の有効利用と集客力アップを狙いコンビニエンスストアを併設し、店舗数が1店舗増加しております。

不動産事業に関しましては、当中間連結会計期間より本格的に土地の分譲販売を行ってまいりましたが、販売が当初予定より若干遅延しております。したがって、下期以降は特に力をいれて販売を促進してまいります。

投資事業に関しましては、前連結会計年度は好調な結果を残すことができたが、当中間連結会計期間は、有価証券等の評価額の下落を受け、苦戦を強いられております。

ブライダル事業に関しましては、都内レストランウェディングのトレンドが落ち込み、また、ホテル系の競合他社が大掛かりな改装工事および営業体制の強化を図っており、厳しい状況で推移いたしました。

その他事業に関しましては、株式会社V O U Sが運営している美容サロンおよび有限会社カーサの運営しているペット霊園は、開店後間もないこともあり、認知度不足の影響等から、売上高は計画を下回っております。また、金の踏査活動を行っているオウガーリソーシス株式会社は、未だ踏査活動の段階のため、収入はありませんでした。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高545百万円（前年同期比56.0%減）、経常損失546百万円（前年同期経常利益203百万円）となりました。また、中間純損失につきましては、特別損失として、関係会社の貸付金等の回収可能性悪化に伴い貸倒引

当金繰入額577百万円、関係会社の収益悪化に伴い減損損失124百万円および持分法による投資損失166百万円、その他投資有価証券評価損243百万円等を計上することから、中間純損失は1,670百万円（前年同期中間純損失533百万円）となりました。

通期の見通し

下半期におきましても、景気や個人消費の穏やかな回復基調は続くと思われませんが、先行きにはなお不透明な要素も多く、また小売業界、外食業界での競争は一層激しさを増し、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

衣料事業につきましては、ブライダル&フォーマル専門店の知名度アップを目指し、営業力を強化するとともに、既存店舗においても他店との差別化を図り、集客に努めてまいります。

飲食事業につきましては、今後とも季節メニューの開発や肉類のロス管理を行うことにより集客向上ならびに粗利益の改善に努めてまいります。また、新たな試みとして開始しているコンビニエンスストアの営業にも力を入れ、焼肉店との相乗効果を図ってまいります。

不動産事業につきましては、上半期より開始した土地の分譲販売が出遅れております。したがって下期以降は特に販売を強化し1区画でも多く当連結会計年度中に引渡が行えるよう取り組んでまいります。

投資事業につきましては、上海株式市場の暴落に端を発した世界同時株安の影響により日経平均株価も大きく下落するなど、先行き不透明な状況であり下期の業績回復は厳しい状況であります。しかしながら、調達した資金をもとに、慎重に案件を精査し、中長期的に安定した収益の計上を見込める商品等に投資してまいります。

ブライダル事業につきましては、競合激化により厳しい状況であります。これまでの都内レストランウェディングのプロデュースだけでなく、アットホームな雰囲気ゲストとの距離を近づけるハウスウェディングのご提案やホテルからのコンサルティング業務を手がけてまいります。

その他事業につきましては、美容サロンおよびペット霊園事業とも更なる知名度向上による集客力のアップに力を入れ収益向上を目指してまいります。また、金の踏査活動を行っているオウガーリソーシス株式会社は、効率的で継続的な調査活動と金の採掘事業を行うことを目的に平成19年3月会社分割によりアークマイنز株式会社を設立し、両社とも公募増資による資金調達ならびにオーストラリア証券取引所への株式上場を目指してまいります。

また、平成19年2月15日取締役会において、第5回新株予約権の発行を決議し、新たな資金を調達することで、投資事業等の拡大を目指し今後の収益確保に向けた土台作りを図ってまいります。

なお、当連結会計年度の業績につきましては、売上高1,200百万円、経常損失950百万円、当期純損失2,200百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年4月

代表取締役社長 山本真嗣

中間連結貸借対照表

(平成19年1月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	6,786,069	流 動 負 債	154,609
現金及び預金	4,065,707	支払手形及び買掛金	31,384
受取手形及び売掛金	15,522	短 期 借 入 金	16,378
商品有価証券	429,692	1年内返済予定長期借入金	1,379
たな卸資産	532,300	未払法人税等	14,831
販売用不動産	874,358	賞与引当金	2,000
短期貸付金	825,248	そ の 他	88,635
預 け 金	500,000	固 定 負 債	98,088
そ の 他	93,305	長期借入金	65,918
貸倒引当金	△ 550,065	そ の 他	32,170
固 定 資 産	1,929,319	負 債 合 計	252,697
有形固定資産	1,273,839	純 資 産 の 部	
建物及び構築物	804,378	株 主 資 本	8,462,359
減価償却累計額	△ 506,774	資 本 金	9,223,047
土 地	962,047	資 本 剰 余 金	753,776
そ の 他	130,886	利 益 剰 余 金	△ 1,513,914
減価償却累計額	△ 116,698	自 己 株 式	△ 550
無形固定資産	199,777	評価・換算差額等	332
投資その他の資産	455,702	為替換算調整勘定	332
投資有価証券	160,577	純 資 産 合 計	8,462,691
長期前払費用	63,618	負 債 ・ 純 資 産 合 計	8,715,389
敷 金	198,516		
そ の 他	82,676		
貸倒引当金	△ 49,686		
資 産 合 計	8,715,389		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(平成18年8月1日から)
(平成19年1月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		545,372
売上原価		412,012
売上総利益		133,360
販売費及び一般管理費		678,360
営業損失		545,000
営業外収益		
受取利息	15,307	
受取配当金	852	
その他の	4,953	21,113
営業外費用		
支払利息	370	
持分法投資損失	17,709	
その他の	4,228	22,308
経常損失		546,195
特別利益		
債務免除益等	12,313	12,313
特別損失		
投資有価証券評価損	243,109	
固定資産売却損	8,998	
株式交付費	10,447	
固定資産除却損	532	
貸倒引当金繰入額	577,711	
たな卸資産評価損	4,280	
持分法による投資損失	166,133	
減損損失	124,331	1,135,544
税金等調整前中間純損失		1,669,425
法人税、住民税及び事業税		4,322
少数株主損失		3,049
中間純損失		1,670,698

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

(平成18年 8 月 1 日から)
(平成19年 1 月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成18年 7 月31日残高	9,223,047	4,090,000	△3,179,438	△550	10,133,058
中間連結会計期間中の 変動額					
資本準備金取崩額		△3,336,223	3,336,223		—
中間純利益			△1,670,698		△1,670,698
株主資本以外の項目 の中間連結会計期間 中の変動額（純額）					
中間連結会計期間中の 変動額合計	—	△3,336,223	1,665,524	—	△1,670,698
平成19年 1 月31日残高	9,223,047	753,776	△1,513,914	△550	8,462,359

	評価・換算差額等			少数 株主 持分	純資産 合計
	その他有 価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	評価・ 換算差額 等合計		
平成18年 7 月31日残高	△61,066	△1,646	△62,712	3,049	10,073,395
中間連結会計期間中の 変動額					
資本準備金取崩額					—
中間純利益					△1,670,698
株主資本以外の項目 の中間連結会計期間 中の変動額（純額）	61,066	1,978	63,044	△3,049	59,995
中間連結会計期間中の 変動額合計	61,066	1,978	63,044	△3,049	△1,610,703
平成19年 1 月31日残高	—	332	332	—	8,462,691

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表

(平成19年 1 月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	5,521,980	流 動 負 債	70,794
現金及び預金	4,000,854	買 掛 金	20,939
売 掛 金	3,396	短 期 借 入 金	3,036
商 品	497,742	未 払 金	6,633
販売用不動産	874,358	未払法人税等	14,563
店 舗 食 材	9,768	未 払 費 用	18,753
貯 蔵 品	3,040	賞 与 引 当 金	2,000
短 期 貸 付 金	79,741	そ の 他	4,869
前 払 費 用	23,386	固 定 負 債	32,170
そ の 他	39,067	預 り 敷 金	31,920
貸倒引当金	△ 9,375	そ の 他	250
固 定 資 産	3,196,026	負 債 合 計	102,964
有形固定資産	1,265,653	純 資 産 の 部	
建 物	262,004	株 主 資 本	8,615,042
構 築 物	29,915	資 本 金	9,223,047
車 両 運 搬 具	933	資 本 剰 余 金	753,776
器具及び備品	10,751	資 本 準 備 金	753,776
土 地	962,047	利 益 剰 余 金	△ 1,361,231
無形固定資産	2,191	その他利益剰余金	△ 1,361,231
電話加入権	195	繰越利益剰余金	△ 1,361,231
ソフトウェア	1,718	自 己 株 式	△ 550
特 許 権	277	純 資 産 合 計	8,615,042
投資その他の資産	1,928,181	負 債 ・ 純 資 産 合 計	8,718,007
投資有価証券	146,577		
関係会社株式	151,861		
関係会社社債	238,013		
その他の関係会社有価証券	1,703,430		
長 期 貸 付 金	405,168		
長期前払費用	62,856		
敷 金	186,435		
そ の 他	18,546		
投資損失引当金	△ 557,544		
貸倒引当金	△ 427,165		
資 産 合 計	8,718,007		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(平成18年 8 月 1 日から)
(平成19年 1 月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		359,130
売 上 原 価		190,187
売 上 総 利 益		168,943
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		437,341
営 業 損 失		268,397
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	10,221	
そ の 他	2,345	12,566
営 業 外 費 用		
匿 名 組 合 契 約 分 配 損 失	104,113	
そ の 他	1,097	105,211
経 常 損 失		361,042
特 別 利 益		12,313
特 別 損 失		1,008,562
税 引 前 中 間 純 損 失		1,357,291
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		3,940
中 間 純 損 失		1,361,231

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

(平成18年 8 月 1 日から)
(平成19年 1 月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	
平成18年 7 月31日残高	9,223,047	4,090,000	△3,336,223	△550
中間会計期間中の 変動額				
資本準備金取崩額		△3,336,223	3,336,223	
中間純利益			△1,361,231	
株主資本以外の項目 の中間会計期間中の 変動額（純額）				
中間会計期間中の 変動額合計	—	△3,336,223	1,974,992	—
平成19年 1 月31日残高	9,223,047	753,776	△1,361,231	△550

	株主資本	評価・換算 差額等	純資産 合計
	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	
平成18年 7 月31日残高	9,976,273	△61,066	9,915,207
中間会計期間中の 変動額			
資本準備金取崩額	—		—
中間純利益	△1,361,231		△1,361,231
株主資本以外の項目 の中間会計期間中の 変動額（純額）		61,066	61,066
中間会計期間中の 変動額合計	△1,361,231	61,066	△1,300,165
平成19年 1 月31日残高	8,615,042	—	8,615,042

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

(平成19年1月31日現在)

①発行可能株式総数 3,000,000,000株

(注) 平成18年10月25日開催の第56回定時株主総会において、定款を変更し、発行可能株式総数を1,400,000,000株から3,000,000,000株に変更しました。

②発行済株式の総数 1,149,760,884株

③1単元の株式数 1,000株

④株主数 39,487名

⑤大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	株	%
大阪証券金融株式会社(業務口)	22,946,000	2.00
谷川雄康	20,000,000	1.74
株式会社エス・エヌ・プロジェクト	8,337,000	0.73
鳥飼健次	8,000,000	0.70
大和証券株式会社	7,806,000	0.68
株式会社神商	6,700,000	0.58
ビー・エヌ・ビー・パリパ・セキュリティーズ(ジャパン)リミテッド	6,676,000	0.58
オメガプロジェクト・ホールディングス株式会社	3,562,000	0.31
竹山 中三	3,500,000	0.30
マネックス証券株式会社自己	3,069,000	0.27

会社の概況

(平成19年1月31日現在)

社名	株式会社イチヤ ICHIYA CO., LTD.		
設立	昭和27年6月24日		
資本金	9,223,047,206円		
本社	高知県高知市帯屋町一丁目10番18号		
営業店舗	9店舗(直営店)		
従業員	21名(パートタイマーは含んでおりません。)		
主要な営業所	本社	高知県高知市	
	店舗	紳士服イチヤ店	3店舗
		キングセレクト店	1店舗
		シェ アヴニール店	1店舗
		高知県	5店舗
		焼肉牛藩店	3店舗
		高知県	2店舗
		埼玉県	1店舗
		ファミリーマート店	1店舗
		高知県	1店舗

取締役および監査役

(平成19年1月31日現在)

取締役会長	山本誠三
代表取締役社長	山本真嗣
常務取締役	竹崎隆一
常務取締役	曾我部達雄
常務取締役	吉岡公和
取締役	橋田宗人
常勤監査役	中越正人
監査役	澤本正二郎
監査役	山中範博
監査役	森本幸伸

(注) 監査役のうち、中越正人、澤本正二郎、山中範博の3氏は、社外監査役であります。

グループ会社の状況

(平成19年1月31日現在)

会社名	出資比率(%)	事業別	主な事業内容
[連結子会社]			
有限会社カーサ	100.0	その他事業	ペット霊園事業
株式会社インターネットスーパー	100.0	その他事業	インターネットショッピングモールの運営(準備中)
株式会社VOUS	50.0	その他事業	美容サロンの経営
株式会社セレスト	50.0	ブライダル事業	レストランウェディングの企画・運営
Augur Resources Limited (オウガーリソース株式会社)	80.0	その他事業	オーストラリアにおける鉱物踏査
株式会社葵投資パートナーズ匿名組合	100.0	投資事業	有価証券等の投資運用
[持分法適用関連会社]			
株式会社アール・ティ ー・シーマネージメント	34.0	—	不動産業
株式会社サハズロト	50.0	—	ロシア連邦サハ共和国における金の採掘事業

(注) 1. Champion Resources Limited (チャンピオンリソース株式会社) は、平成18年8月23日に Augur Resources Limited (オウガーリソース株式会社) に社名変更いたしました。
 2. 株式会社葵投資パートナーズ匿名組合については、業務執行権は有していないものの、重要性が高いことから連結対象としています。

●株 主 メ モ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎年10月下旬開催
基準日	
定時株主総会	7月31日
剰余金の配当	期末 7月31日 中間 1月31日
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.ichiya-group.co.jp/) に 掲載いたします。 ただし、事故その他のやむを得ない事 由によって電子公告による公告をする ことができない場合は、日本経済新聞 に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777 (通話料無料) (注) 平成19年5月7日より株主名簿 管理人事務取扱場所が次のとお りとなります。 同事務取扱場所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
お 知 ら せ	住所変更、配当金振込指定・変更、単 元未満株式買取請求に必要な各用紙お よび株式の相続手続依頼書のご請求 は、株主名簿管理人のフリーダイヤル 0120-684-479およびインターネット ホームページ (http://www.tr.mufg.jp/daikou/) でも24時間承っております ので、ご利用ください。
ホームページのご案内	当社Webサイトにて最新のIR情報等 をご覧頂けます。 http://www.ichiya-group.co.jp/